

概要版

令和5年度第4回野洲市MIZBEステーションかわまちづくり協議会 会議録

開催日時 令和6年5月30日（木）
午前10時00分～午前10時45分
場所 市役所本館3階 第1委員会室
出席者 委員7名中7名（うち代理1名）
傍聴者 3名

1. 開会

事務局（野洲市都市建設部 次長）から協議会成立の報告

市長挨拶

2. 議事

- (1) 野洲市MIZBEステーションに対する意見聴取について
資料1に基づき説明

結果 • 野洲市MIZBEステーションの事業概要や基本となる施設の規模、機能について市内全域への周知を図るとともに、野洲川の水辺利用や施設機能への意見を様々な分野、世代から聴取することを目的に意見聴取を行うことについて議論した。

主な意見

D委員 参考2の野洲市MIZBEステーションに関するアンケート（作成中）に書かれてる内容で2点意見がある。

1点目は、問2お住まいの地域で、①市内、②市外（県外）、③県外という選択肢がある。①については市内という括りよりも、もっと詳しく地域の区割りしてアンケートを実施されてほうがよいのではないか。例えば学区別に分けるなど。

また、左岸側は守山市になるが、守山市と野洲市で共有する部分も出てくるので、守山市からの意見も求めたほうがよいのではないか。

2点目は問5で「いくつでも選んで」という記載があるが、必要な施設ばかりが書かれていると思うので、順番付けをして答えてもらったほうがよいのではないか。問6にも同じことが言えるが、優先順位をつけてもらったほうが

アンケートとして効果が出てくると思う。

事務局 問2に関しては、学区が分かるように反映させたいと思う。
問5、問6についても優先順位をつけてもらえるようなアンケートを実施させてもらいたいと思う。

F委員 参考2の野洲市MIZBEステーションに関するアンケート（作成中）の問5の選択肢7に「キャンプやバーベキューなどができる」とあるが、キャンプやバーベキューの場所を設定する際は、ごみ問題が出ないようにしてほしい。

事務局 当面はニーズの把握をしていく。そこで、キャンプやバーベキューの優先度が上位になった際には、その段階でごみ問題についても検討していく。

（2）協議会のスケジュール及び当面の予定について

資料2に基づき説明

結果 • 協議会の今後のスケジュール、周知活動やイベントについて議論した。

主な意見

A委員 5月19日のPR活動の際にいただいたご意見があれば教えてほしい。

事務局 当日はラグビー関係者の方が多かったので、「ラグビーをするところが少ない」、「会場はあっても使用制限をされていて、なかなか週末に使用できない」というご意見をいただいた。

A委員 今後の段取りを簡単にご紹介させていただくと、かわまちづくり計画として認められるのが、7月または8月になると思われる。認められると、河川管理者として親水護岸の整備等をすることに対して一定の予算措置が可能になるので、認めていただけるようにしっかりと説明をしていきたいと思う。

今後ともPRをしていくことが大事だと思っており、第5回の協議会のときにかわまちづくり計画書が認められていれば、その認定証をお渡しするようなことも合わせて実施をできればと思っている。

そのような機会があるとマスコミの方にも取り上げてもらいやすくなり、それがPRにもなるかと思う。

D委員 「かわまちづくり」計画の登録について（申請）の様式4の整備範囲のところにピンク色の点線でエリアが示されている。このエリアは右岸側だけであ

り、左岸側が含まれていない。

一方、他の資料では、左岸側や落差工も含んだ範囲がエリアとなっているものもある。どのエリアが正しいのか。

事務局 資料1 野洲市 MIZBE ステーションに対する意見聴取についての参考資料である、実証実験（試行イベント）の骨子（案）に示されている黄色の点線が野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくりとして考えているエリアである。

一方、「かわまちづくり」計画の登録について（申請）の様式4の整備範囲のピンク色の点線は防災機能を備えている（河川防災ステーション）のエリアである。

D委員 平常時に使用するエリアは黄色の点線の区域であると認識してよいか。

事務局 そうである。

ただ、左岸側も含めて全て整備することは、予算的に厳しいと考えられるため、このエリアの中で特に右岸側を中心に河川へのアプローチなどを河川管理者として整備させていただくということでご理解いただきたい。

大きめにエリアを設定して申請し、このエリア中で必要に応じて、追加で何かできることはないかを考えていければと思う。

議長 左岸側は守山市であり、整備するのは守山市になるということか。

事務局 現時点では守山市が左岸側の整備を考えられているわけではないが、先日、守山市長と話をした際には、「賑わい施設なので、なるべくたくさんの方が集まることができるといい。」というご意見をいただいた。

一方で、「対岸に渡ろうと思うと上流側、下流側の橋を渡って大回りをしなければならないので、フットパスと呼んでいるが、川の水位が低いときには少し飛び石のように渡れるようなものがあるといい。」というご意見もいただいた。

今後そのようなご意見も含めて検討していくと思う。

議長 守山市・栗東市と3市の首長で話をした際に、野洲市 MIZBE ステーションを一つの核として、これらの3市で共同で何かできればという話はさせていただいた。

E委員 動物との同行避難も含めて、動物をテーマにした暮らしという部分で、防災のところで何かできることがあるのかなと思っている。

また、びわこわんにやんマルシェという会合を毎月野洲市でさせていた

だいており、その場での意見も吸い上げていきたいと思っている。

加えて、協議会の今後のスケジュールの資料に書かれているイベントにも参加させていただけたらと思っている。

なお、ドッグランについても検討いただきたい。

事務局 施設の利活用について幅広く意見を聞いて、多くの方々に使っていただけ
るような施設にしたいと考えている。

E 委員 電気設備は施設内のどこにあるのか。

事務局 まだ決まってはいないが、この施設は災害時にも活用するものになるので、
特殊車両がその配置された場合、その照明車の電源の確保も必要である。商用電源が確保されない場合でも、電気を起こせるような補助的な設備も想定しないといけないと思っている。

また水防センターにも電気は使うし、グラウンドの照明設備にも電気が必要であるため、今後検討を進めていく。

D 委員 本日の資料の中では、MIZBE ステーションへの進入路が明記されていない。
アンケートや意見聴取を実施される際には進入路を明記したほうがよい。

事務局 進入路については、隣接する高等専門学校との通学の兼ね合いや、利便性、
施設そのものがどのように見えるのかというところも含めて、これから検討していく。

F 委員 進入路が複数になる可能性もあるか。

事務局 未定である。

3. その他

F 委員 県道守山中主線の竹生付近のセパレート部分が危険なため何とかしてほしい。逆走する車も見受けられるので。

C 委員 地元や市からもご意見・ご要望いただきしており、前向きに検討したい。

4. 閉会

以上